



くば小児科 クリニック

院内報 2012年4・5月号

● 院内版感染症情報 ～2012年第17週（4/23～4/29）

2012年	第01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17週
インフルエンザ	1	1	16	52	39	18	21	9	13	11	13	7	9	6	2	7	10
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	5	7	7	0	2	4	2	1	4	1	1	3	3	1	1	5	5
水痘	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	0	1	0	2	0	2	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0

この冬のインフルエンザは1月下旬から2月上旬にかけてA香港型がピークとなり、2月末まで順調に減少していましたが、その後B型の流行が始まり4月下旬でもまだ収束していません。B型はA型に比べると合併症は少なく、初期に腹痛や嘔吐などの腹部症状を伴うことがあります。治療や看護はA型と特に変わりません。B型がこんなにダラダラと続いたのは記憶にありません。

その他には、ウイルス性胃腸炎（ノロまたはロタ）がいったん下火になり、4月下旬にまた増加しています。いずれもGW明けには収まる見込みです。

● インフルエンザ・おたふくかぜの出席停止期間が変わりました

インフルエンザ：発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児では3日）

＝もし発症日に受診して翌日解熱しても全部で6日間は休まなくてはいけない
百日咳：特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで

流行性耳下腺炎：耳下腺，顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで

その他には髄膜炎菌性髄膜炎が追加されましたが、ほかの項目には変更はありません。主なものを再掲しておきます。

水痘：すべての発疹が痂皮化するまで

麻疹：解熱後3日を経過するまで 風疹：発疹が消失するまで

咽頭結膜熱：主要症状が消退した後2日を経過するまで

その他の感染症は「学校医その他の医師が伝染のおそれがないと認めるまで」

● 青森県は2011年に「はしかゼロ」 全国400例以上で道半ば

WHOでは2012年を西太平洋地域の麻疹（はしか）排除（elimination）の目標年と定めています。2011年の国内患者報告数は434例で、2008年の11,015例、2009年の741例から大幅に減少していますが、目標である年間100万人当たり1例未満（国内で120例未満）にはほど遠いのが現状です。

青森県内では2008年63例、2009年11例、2010年8例と減少し、2011年には初めて「はしかゼロ」を達成しました。

当院でも院内報などで本格的に「はしかゼロ」に向けて予防接種率の向上を呼びかけたのが2002年でしたが、県内はしかゼロのニュースに感慨深いと言うよりも、こんなに長くかかってしまったのかというのが実感です。しかも、目標である国内からの排除（地域の流行がなく、海外からの持ち込みがあっても流行に至らない）を今年中に達成するのは非常に難しいのが現実です。

麻疹対策は予防接種につきます。接種率が95%以上あれば、海外から持ち込まれても周囲に感染せず鎮火できます。しかし、2011年の接種率は第1期～第4期でそれぞれ94%、92%、86%、77%で目標の95%には届いていません。

今年度は5年限定の第3期（中1）4期（高3）接種の最終年にあたります。まずは該当の学年の子は忘れずに接種することが第一です。その上で、来年度以降は接種もれの子どもたちへの接種を継続する必要があります。この点については現在政府の委員会で検討中です。なお、昨年度行われた高2の海外渡航前の接種は中止になっています。（第3期の接種を済ませているため）

● ポリオ予防接種 9月から不活化ポリオ（単独）導入へ

ポリオの問題は昨年10・11月号にも書きましたが、新たに導入される4種混合ワクチン（三種混合＋不活化ポリオ DPT-IPV）よりも後に申請された単独不活化ワクチン（輸入品）が先に承認され、9月から定期接種として導入されることになりました。これに伴いポリオは全て不活化ワクチンに切り替わり、秋の生ワクチン集団接種は実施されないこととなります。4種混合（DPT-IPV）は11月頃に導入される予定ですが、こちらは三種混合を1回も接種していない子だけが対象になります。三種混合やポリオ生ワクチンを受けているかどうかにより若干複雑になりますが、もう一度詳しくお知らせします。

● HPV（子宮頸がん）、ヒブ、肺炎球菌ワクチン無料1年延長

昨年度限定だった3種類のワクチン無料化は、来年3月末まで1年間延長になりました。対象年齢などは昨年度と同じです。定期化については次の記事…

● 新たに7種類のワクチンが定期接種に 予防接種法改正に注目

肺炎球菌（小児用と成人用）、ヒブ（インフルエンザ菌b型：Hib）、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、子宮頸がん予防HPVワクチン、B型肝炎の7種類が定期接種となる厚生労働省原案が決まったようですが、まだ国会にも提出されておらず、政治の混乱の影響が懸念されます。

ロタウイルスについては今年度中を目標に新たに評価中で、当面は任意接種のままの見込みですが、一緒に定期化される可能性も残っているようです。なお、ロタウイルスワクチンの接種について当院ではこれまで様子を見ていたため実施していませんでしたが、準備出来次第開始したいと思います。

乳児へのB型肝炎ワクチン（母子感染予防以外）については、定期化が決まるまで待ちたいと思います。（他院で接種途中の場合を除く）

接種するワクチンが多くなり回数や時期も複雑になります。随時情報をお伝えしたいと思います。（院内報の発行が遅れていますがブログもご覧ください）

● 5月～6月の診療日、急病診療所、各種教室、相談の予定

5月～6月も暦通りの診療で、臨時休診の予定はありません。急病診療所当番は5月5日(祝)夜、18日(金)夜、28日(月)夜の3回で、6月の当番は未定です。次回の赤ちゃん教室は5月19日(土)です。育児・子どもの心相談、禁煙外来（保険・予約制）は随時受け付けております。メール予約システムをご利用下さい。♡ 当院は「敷地内禁煙」です 発行 2012年4月30日 通巻第157号